田川議員（公明党）

平成26年12月11日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）ＩＣＴ環境の整備状況について

これだけインターネットが普及した時代に，ＩＣＴの活用も重要であると考える。

文部科学省公表の資料によると，本県の高等学校の教育用コンピュータ１台当たりの生徒数は６．６人で全国４２位。同じく，普通教室のＬＡＮ整備率は４９．５％で４７位。超高速インターネット接続率は６７．７％で３６位。また，教師が授業中にＩＣＴを活用して指導する能力が６３．３％で３３位であり，いずれも決して高くはない。

こうした現状をどのように評価しているのか，また，今後どのように改善しようとしているのか，併せて教育長に伺う。

（答）

本県高等学校のＩＣＴ環境は，他県と比べ，かなり遅れている状況であり，課題であると認識いたしております。

平成２５年６月に国が策定をしました「第２期教育振興基本計画」におきましては，すべての学校へのタブレットパソコンの導入など，新たな目標水準が示されたところでございます。

教育委員会といたしましては，本年度検討を進めております「広島版『学びの変革』アクション・プラン」を円滑に推進するためにも，ＩＣＴ環境の一層の充実が必要と考えており，計画的な整備に努めてまいります。